

課題

- ・放送関連分野の国際競争力強化
- ・放送の高度化官民の目標策定

Mission—使命

元気をつくる！

次世代放送サービスを「世界に先駆けて」導入
成長戦略を牽引

Vision—目標

- I. スーパーハイビジョン(4K・8K)の放送開始の前倒し、推進体制整備
- II. スマートテレビによる通信・放送連携サービスの早期開始、推進体制の整備
- III. ケーブルテレビのプラットフォームの早期整備

取組の
方向性

- ◆4K、8K、スマートテレビ、ケーブルプラットフォームに関し、早期のサービス開始やその普及に向け、ロードマップを策定。
- ◆上記を実行するため、関係事業者等からなる推進体制を整備

● 諸外国の動きに先駆け、サービス開始を前倒し、放送関連の新市場を創出。国際競争力を強化。

- ① 4K・8Kの高精細、高臨場感の映像技術を活かした次世代の映像サービスの早期実用化と普及を実現。
- ② スマートテレビ上における、放送番組とインターネットが本格的に連携した高度なサービスの早期普及を促進。
- ③ ケーブルテレビにおけるプラットフォーム構築によりIP等を活用した新たなサービスの普及を実現。

4K、8K(スーパーハイビジョン)

4K・8Kの放送サービスや受信機の実用化・普及に関するロードマップの策定

- 4K・8Kの放送サービスや受信機の実用化・普及について、ロードマップを策定。
- 本年5月2日、4K・8K放送等のオールジャパンの推進体制として、関係事業者が「次世代放送推進フォーラム」を立ち上げ。

スマートテレビ

スマートテレビ普及の鍵となるサービスの早期開始、推進体制整備

- 放送番組の進行に沿った情報表示等スマートテレビの具体的なアプリの実現について、ロードマップを策定。
- 多くの開発者の参加による多様なアプリ開発を可能とする、オープンな環境等を実現する体制を早期に整備。

ケーブルテレビ・プラットフォーム

ケーブルテレビのプラットフォームに求められる機能の具体化とその実現

- ケーブルテレビ事業の共通プラットフォームの整備と、提供される具体的なサービスについて、ロードマップ策定。
- 共通プラットフォームの機能を担う体制を、早期に整備。

一般社団法人 次世代放送推進フォーラムの概要

【参考資料】

1. 目的

4K・8K、スマートテレビなど高度な放送サービスを「前倒し」で実現。
世界に先駆けて、視聴者の目に見える形でその具体像を示すことにより、需要を喚起。その普及を促進。

2. 業務

- ① 4K・8K、スマートテレビなど、高度な放送の試行的な実施
- ② 放送に必要な設備の整備、所要の技術規格の検討
- ③ 高度な放送に関する周知広報、国際的な情報発信

3. 構成

(敬称略)

名誉会長	渡辺捷昭	日本経済団体連合会 副会長・情報通信委員長 (トヨタ自動車 相談役)
理事長	須藤 修	東京大学大学院情報学環長・教授
副理事長	松本 正之 井上 弘 平井 一夫 片山 泰祥	日本放送協会 会長 日本民間放送連盟 会長 (東京放送ホールディングス 代表取締役会長、TBSテレビ 代表取締役会長) ソニー 代表執行役 社長 兼 CEO 日本電信電話 代表取締役副社長
顧問	鈴木 陽一 伊東 晋 村井 純	東北大学電気通信研究所 教授・情報シナジー機構長 東京理科大学理工学部教授 慶應義塾大学環境情報学部長・教授
理事社 (21)	地上放送 衛星放送 CATV メーカー 通信 関係業界	日本放送協会、日本テレビ放送網 TBSテレビ、フジテレビジョン、テレビ朝日、テレビ東京 スカパーJ SAT、WOWOW、東北新社 ジュピターテレコム ソニー、東芝、パナソニック、シャープ、日本電気、富士通 日本電信電話、KDDI、ソフトバンクBB 住友商事、電通

4. 予定等

5月2日 設立総会開催 (5月7日設立登記)
5月中 各委員会発足等、体制の整備
6月 業務開始

放送サービスの高度化に関するロードマップ(イメージ)

【参考資料】

